

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 原発性十二指腸癌に対する治療成績の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 消化器センター外科 職位・氏名 助教・岡田 嶺

【試料・情報の利用目的】

原発性十二指腸癌は消化管悪性腫瘍のなかでも比較的まれな疾患であり、その病態や治療(手術)に関する検討はまだまだ充分ではありません。そこで東邦大学医療センター大森病院消化器センター外科では、原発性十二指腸癌に対する治療内容の詳細を検討することで、その病態や適切な治療、術式を詳しく検証することを目的として本研究を計画しました。

取得した試料・情報は、本研究について詳細に検討することを目的に利用します。

この研究により原発性十二指腸癌の病態や適切な治療法がわかることで、標準治療確立への一助となります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報：年齢、性別、併存疾患の有無、手術内容、術後経過など

試料：血液検査結果、画像検査結果など

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年6月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 瓜田 純久

【試料・情報の取得方法】

対象者：2001年1月～2025年12月までに、東邦大学医療センター大森病院消化器センター外科において、原発性十二指腸癌に対する治療を受けた方

方法：診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名：消化器センター外科 研究代表医師：岡田 嶺 役職：助教

【利用する者の範囲】

本研究は当院でのみ実施致します。他研究機関への情報提供はありません。

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年12月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 消化器センター外科

職位・氏名 助教・岡田 嶺

電話 03-3762-4151 内線 6530